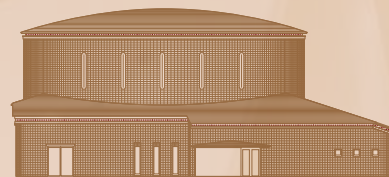

BAROCKSAAL KYOTO AOYAMA MUSIC MEMORIAL HALL

青山音楽記念館 パロックザール コンサートガイド

Barocksaal



CONCERT GUIDE 2022

5

MAY

&

6

JUN



上原彩子 ピアノリサイタル

9.17 sat 15:00 開演

アントワン・タメステイ&鈴木優人 デュオリサイタル

10.9 sun 15:00 開演

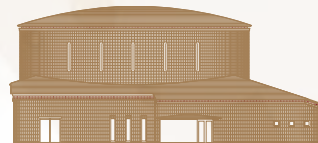
マリオ・ブルネロ 無伴奏チェロリサイタル

11.6 sun 14:00 開演

高木和弘インタビュー

“クラシックmeetsタンゴ”開催に寄せて

Barocksaal



9/17
sat
15:00 開演

上原彩子 ピアノリサイタル

主催公演

6/25(土)
10:00~
発売

チャイコフスキー国際コンクール優勝以降、深化を極める上原彩子
デビュー20周年の今を聴かせるオール・チャイコフスキープログラム



©Akira Muto

チャイコフスキー

- ・四季-12の性格的描写 op.37 bis
- ・18の小品 op.72から抜粋(曲目調整中)
- ・ピアノソナタ長調 op.37「大ソナタ」

上原彩子(ピアノ)

入場料 ¥5,000【全席指定・税込】

10/9
sun
15:00 開演

アントワン・タメステイ&鈴木優人デュオリサイタル

“バッソ・コンティヌオ”シリーズ第1弾

主催公演

7/9(土)
10:00~
発売

共演を重ねる盟友二人によるステージ。普遍的な美しさに酔いしれるような
タメステイのヴィオラに、鈴木優人のチェンバロが雄弁に語る



©Philippe Matsas Harmonia Mundi

J.S.バッハ

- ・ヴィオラ・ダ・ガンバ ソナタ
第1番 長調 BWV1027 第2番 二長調 BWV1028
第3番 短調 BWV1029
- ・半音階的幻想曲とフーガ ニ短調 BWV903
- ・無伴奏ヴァイオリン パルティータ 第2番 ニ短調 BWV1004 より
“シャコンヌ”(ヴィオラ編ト短調)

アントワン・タメステイ(ヴィオラ)、鈴木優人(チェンバロ)

入場料 ¥5,000【全席指定・税込】

“バッソ・コンティヌオ”とは…古楽に限らず全ての音楽の土台となる“バッソ・コンティヌオ”(通奏低音)。
鈴木優人さんを企画監修者として迎えたバロックザールの新シリーズです。

11/6
sun
14:00 開演

マリオ・ブルネロ 無伴奏チェロリサイタル

主催公演

7/16(土)
10:00~
発売

独創性に満ちた世界的チェリスト、ブルネロが挑む
チェロとチェロ・ピッコロ(小型チェロ)、2つの楽器で綴るバッハの世界



©Gianni Rizzotti

J.S.バッハ

- ・無伴奏チェロ組曲
第4番 変ホ長調 BWV1010 第5番 ハ短調 BWV1011
第6番 二長調 BWV1012
- ・無伴奏ヴァイオリン パルティータ
第1番 口短調 BWV1002 第2番 ニ短調 BWV1004
第3番 ホ長調 BWV1006

マリオ・ブルネロ(チェロ、チェロ・ピッコロ)

入場料 ¥5,000【全席指定・税込】

バッハ無伴奏全曲演奏連携企画

11/5 sat 14:00 開演 兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

〈プログラム〉バッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番~第3番、無伴奏ヴァイオリンソナタ全3曲

〈お問合せ〉芸術文化センターチケットオフィス/TEL 0798-68-0255(AM10:00~PM5:00/月曜休み ※祝日の場合は翌日)

発売日決定!

6月12日(日)10時よりバロックザールオンラインチケットにて発売開始

「エマニュエル・パユ&マリー=ピエール・ラングラメ デュオコンサート」

公演日時 2022年7月6日(水) 19:00開演

※入国制限措置により発売日を延期する場合がございます。最新情報は公式HPをご覧ください。

(公財)青山音楽財団主催公演では、当日券が発売される場合のみ、学生証の提示で1,500円(税込)にてご入場いただけます。

新型コロナウイルスを含む感染症への対応について



- 入場時に非接触体温計による検温にご協力ください。検温の結果が37.5℃以上の場合、ご入場をお断りいたします。
- ご来場の際はフィルター性能の高い不織布マスクを常時正しく着用するようお願いいたします。マスク着用が無い方は入場をお断りいたします。また、こまめな手洗い、手指消毒、咳エチケットの実践にご協力ください。
- 館内では、出来る限り会話をお控えください。また、ブラボーなどのお声がけはご遠慮ください。
- 休憩時や退場時には、お客様同士の距離を確保しての行動をお願いいたします。出演者との面会・サインはお断りいたします。



INTERVIEW

高木和弘さん
インタビュー

KAZUHIRO TAKAGI

—高木さんは1997年、第7回青山音楽賞受賞後世界的なコンクールで上位入賞を果たされています。当時の事をお聞かせください。

高木 私はそもそも高校を卒業するまで音楽を生業にする決心をしていなかった遅咲きなので、当時はプロを目指してまだ5年目位でした。とにかく師匠の森悠子先生やエドワード・ウルフソン先生のもとで、ただがむしやりに音楽に邁進していた頃だったと思います。青山音楽賞をいただく事になった自分のリサイタルが1997年の1月にあり、その後間もなく初夏にブリュッセルのエリザベト王妃国際コンクールに臨み、気がつけば本選の会場に日本の国旗が上がっているのを見たときは逆に少し怖くなったくらい。自分がやっていることが自分では見えてない時期で、とにかく必死でした。

—ソロにアンサンブルにと精力的に活動され、高木さんの演奏に多くの方が魅了されていますが、演奏にあたって大切にされていること、そして魅力的な演奏の秘密を教えてください。

高木 そうなのですか？魅了されているお客様がいると言うお言葉自体とても意外で嬉しいです。ありがとうございます。

もしそれが事実なのだとして仮定し申し上げるならば、「無」から自分の演奏する曲が生まれたときの事を自分なりに想像して感情移入する事は、とても大事なことだと思います。世界中に時を超えて残っている音楽作品が今もなお楽譜を通して伝え続ける魂のメッセージを、作曲家の立場に立って読み取ることです。それがあまりわからなかったり伝わらない作品はあえて自分から演奏することは無いかもしれません。

ヴァイオリンを習うということ自体は畳2畳分くらいのスペースに先生と生徒がいて楽器があればできます。それがある程度のレベルになってくると、会場のお客様を集めて自分の演奏を聴いてもらうようになります。そして、その評判がメディアやその他の媒体で報じられると次々と演奏の機会が増えていきます。そしてそれが海外に渡るようになり、いつの間にか畳2畳分で行う行為が地球全体を



©八木 毅

かけ巡るようになるのです。私にもいろんな国の友人ができ、言葉もいくつか話せるようになりました。今思えば、ヴァイオリンを始めた頃に思い描いていた、「世界をヴァイオリン1丁で旅をする」という淡い夢をどこかでずっと持ち続けていたのかもしれない。

—自分のしていることが世界中の人のコミュニケーションツールになっているという事に大きな喜びを感じながら日々舞台上が上がっています。そういう心がもしもしたら「秘密」なのかもしれません。

—今回の「クラシックmeetsタンゴ」は、旧知の世界的バンドネオン奏者、ヴィッレ・ヒルトウラさんとのコラボレーションですが、お知り合いになったきっかけは？

高木 私とヤンネ館野さんが森悠子先生の元同門で、かれこれ25年程の友人になりますが、彼とはユーシア弦楽四重奏団という団体を組んでいた時期があり、それでフィッシュポット室内楽コンクールで全米優勝してから、様々なフェスティバルに参加していました。そ

の中で、ヤンネ館野さんがお父様の館野泉先生とフィンランドのオウルンサロという場所で開催していた音楽フェスティバルに私自身3年連続で出演させていただいたことがあり、ユーシアSQでも出演しました。そのときにタンゴバンドやドヴォルザークのバガテルなどを、ヴィッレさんと演奏することができたのが、そもそも彼のとの馴れ初めです。

彼は随分後に結婚をして神戸に住みだしたという驚愕のニュースを知り、またこうして一緒に演奏できる機会が持てたのは、とても喜ばしいことです。



©Motoki Uemura

—一本公演の聴きどころをお聞かせください。

高木 ヒナステラはピアノの師であったり、バイエルマンの作風もピアノの作品に強い影響を受けながらも更に前衛的な音楽への挑戦が見られる作品であったりと、面白い面がたくさん見せられると思い、ヴィッレの意見を元にみんなでこのプログラムを考えました。ドヴォルザークのバガテルにおいては、携帯オルガンといった位置づけにバンドネオンを置くことで、とても牧歌的なドヴォルザークの一面が楽しめる名曲です。

—パロックザールのお客様へメッセージをお願いします。

高木 私のデビューリサイタルで誉れ高き青山音楽賞をいただけることとなったこの場所で、その25年後に人生の大切な音楽の友であるみなさんと音楽に邁進できる機会を得られるというのは何にもまさる喜びです。そんな我々の音楽を一人でも多くのお客様のお耳に入れることができますれば幸いです。会場にてお待ち申し上げます。



©八木 毅

5/28 sat 14:00 開演

好評発売中!

〈パロックザールゆかりのアーティスト〉
高木和弘×ヴィッレ・ヒルトウラ
con salon de sasanoha “クラシック meets タンゴ”

胸に迫る郷愁と情熱のタンゴ

- アントニン・ドヴォルザーク：5つのバガテル op.47 (バンドネオン版)
- アルベルト・ヒナステラ：弦楽四重奏曲 第1番
- アストル・ピアソラ：四人でタンゴ
- ファン・ホセ・モサリーニ：アレー・エ・ルトゥール 第1番 (バンドネオンとヴァイオリン)
- グスターヴォ・バイエルマン：クラシコ・イ・モデルノ
- アストル・ピアソラ：ブルーノ・エ・サラ (バンドネオンとヴァイオリン)
- バイエルマン：レトラート 第3番、トリスト
- ピアソラ：ヴィアーヘ・デ・ボダス (バンドネオンとヴァイオリン)
- バイエルマン：オフレンダ
- ピアソラ：アディオス・ノニーノ

高木和弘 (ヴァイオリン) ヴィッレ・ヒルトウラ (バンドネオン)
ヤンネ館野 (ヴァイオリン) 田中佑子 (ヴァイオリン)
中島紗理 (チェロ)

入場料 ¥5,000 【全席指定・税込】



BAROCKSAL CONCERT CALENDAR 2022

月	日/曜日	開演	コンサート名/曲目	出演	入場料	
5 may	1 sun	14:00	母の歌と娘のフルートで奏でる Thanks Concert 《ソプラノ》中田喜直：金子みすゞ詩による童謡歌曲集「はしとたんぼほ」より わたしとこりとすずと、こころ、ほしとたんぼほ 他 ベリーニ：熱き願い、フィリッデの悲しげな姿よ、美しい月よ、 歌劇「カプレーティ家とモンテッキ家」より ああ幾たびか 《フルート》タファネル：「ミニヨン」の主題によるグランド・ファンタジー シャミナード：コンチェルティーノ ドビュッシー：小組曲より小舟にて／亜麻色の髪の乙女 プーランク：フルート・ソナタ 《ソプラノとフルート》ドニゼッティ：歌曲「ランメルモールのルチア」より狂乱の場	松井 忍(ソプラノ) 太田友美(フルート) 小林美智(ピアノ)	¥2,000(前売一般) ¥1,000(前売学生) ▶助成 ※当日各¥500増	
			14 sat	清風香るコンサート～Crece Ensembleシリーズ vol.2～ ニヤタリ：チェロとギターのためのソナタ パッハ：チェロ組曲 第3番 ハ長調 他	鈴木大介(ギター) 三宅依子(チェロ)	¥3,500(一般) ※当日各¥500増
			15 sun	糸井博己 テノールリサイタル 別宮貞雄：淡彩抄 シューベルト：ます、野ばら グノー：その花を僕に、セレナード シャプリアエ：せみ、ジャンヌに寄せる歌 木下牧子：愛する歌 他	糸井博己(テノール) 遠藤玲子(ピアノ)	¥3,000 ▶助成
			26 thu	松田 弦 ギターコンサート パッハ：リュート組曲 第1番 BWV996 ヴァイス：リュート ソナタ 第28番「有名な海賊」より ヘンデル：アリア「私を泣かせてください」 ポプ・ティラン：風に吹かれて ビートルズ：イン・マイ・ライフ ジミ・ヘンドリックス：リトル・ウィング ドアーズ：ライダース・オン・ザ・ストーム イーグルス：ならず者 クイーン：ラブ・オブ・マイ・ライフ レディオヘッド：ノー・サブライゼス 他	松田 弦(ギター)	¥3,000 ※当日¥500増
			28 sat	高木和弘×ヴィッレ・ヒルトウラ con salon de sasanoha クラシック meets タンゴ ※詳しくは中面をご覧ください。		主催 ▶主催
			29 sun	新緑の五月の室内楽 ～フィンジ・モーツァルト・ベートーヴェン～ モーツァルト：クラリネット五重奏曲 Ⅰ長調 K.581 フィンジ：5つのバガテル op.23(C・アレクサンダー編曲/クラリネット五重奏版) ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第3番 二長調 op.18-3	柳生峰人(ヴァイオリン) 加藤茉莉子(ヴァイオリン) 前川信幸(ヴィオラ) 廣野 誠(チェロ) 柳樂由美子(クラリネット)	¥3,500(一般) ¥2,000(学生) ▶助成
6 jun	4 sat	14:00	室内楽の悦び メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 op.49 ピアノ三重奏曲 第2番 ハ短調 op.66 フリーリンク：クラリネット三重奏曲 Ⅰ短調 op.40	小谷口直子(クラリネット) 岡崎耕治(ファゴット) 岡崎悦子(ピアノ)	¥3,000(一般) ¥2,000(学生) ▶助成 ※当日各¥500増	
	5 sun	13:30	スプリングコンサート 2022	関係者	無料	
	19 sun	15:00	第29回宮本佳計 テノールリサイタル モンテヴェルディ：かくも甘き苦しみ アン：クロリス R.シュトラウス：秘めやかな誘い シューベルト：兵士の予感 マーラー：起床ラップ ヴァイル：ホイットマンの4つの歌 他	宮本佳計(テノール) 大岡真紀子(ピアノ)	¥2,000(前売一般) ¥1,000(前売学生) ▶助成 ※当日各¥500増	
26 sun	14:30	菖蒲華 ～あやめはなさく～ ピアノ音楽時間 リスト：巡礼の年2年「イタリア」より ベトラルカのソネット、3つの演奏会用組曲より ため息 ショパン：バラード第1番、ノクターン第2番、第5番 ドヴォルザーク：ユモレスク ドリープドホナーニ：ナイラワルツ ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ 他	久保木純湖(ピアノ) 大嶋樹美江(ピアノ) 剣持和乃子(ピアノ)	¥2,000 ▶助成		

▶主催 = 主催公演(バロックザールがおすすめする国内外の優れた演奏をお楽しみいただけます)

▶新入団 = 新人助成公演(音楽家としての活動を青山音楽財団が応援・開催費用の助成をしているコンサート)

▶助成 = 助成公演(音楽家としての活動を青山音楽財団が応援・開催費用の助成をしているコンサート)

▶協賛 = 協賛公演(青山音楽賞を受賞した音楽家による演奏会、奨学生披露演奏会等)

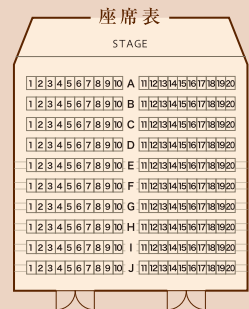
チケット購入のご案内

便利でお得なオンラインチケット(主催公演のみ)をぜひご利用ください。

PCまたはスマホから www.barocksaal.com

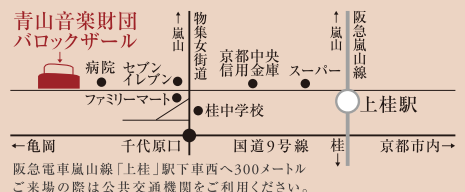
バロックザール窓口で TEL 075-393-0011 受付時間 9:30～18:00 休館日 月曜・火曜

- ※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等はいたしかねます。
- ※公演中止の場合を除き、チケットの変更・払戻はできません。
- ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
- ※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。
- ※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りいたします。



お問い合わせ
tel. 075-393-0011
9:30～18:00 月・火 休館
夏季休館: 8月12日(金)～18日(木)
〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1
<https://barocksaal.com/>

Barocksaal
京 青山音楽記念館



www.barocksaal.com



@barocksaal



@aoyamazaidan